

次は本格的な闘いだ!

新小岩。佐倉。ストの感想

新小岩 Nさん

執行委員会でストライキをやると確認した。ストをやりにゆけたのは、今の当局の攻撃にみんな怒っているからだと思う。とくに頭に来るのはJR東当局。スト終了後の帰り道、JR東当局のスト対策の連中がまだウロウロしていた。なんで奴らがでしゃばって来るのか。そればかりではなく、なにかという貨物を差別してくる。東のやり方には、貨物の当局を含めてみんな怒っているよ。

新小岩支部 Tさん

四月十七日のストライキには支部の支持に従ってストに突入しました。十六時八分、ストに突入し、スト支援の組合員と合流するとみんななつかしい顔ばかり。元新小岩支部の組合員が支援に駆けつけてくれて非常に心強くなり、熱いものが込みあげてきた。スト突入者の発言の時も言ったけれど、五〇才以上の人が当局にだまされ、みんな辞めさせられてしまい、いつも本部のオルグでも私の名前が引き合いに出されてしまうほど私達の年代の者は貴重な存在になってしまっている。私達の年代は、青春を灰にしてカマを焚いてきた。辞めさせられた人たちは、今はわずかに八万円の年金生活を強いられる。本当だった

らもつと大切にされなくてはおかしいんだ。まさしく分割・民営化の犠牲者だ。私はそのことに心底から怒っている。スト自身は、音もでない(列車には影響のない)ストだったが、新小岩のスト突入者のなかにも強い人もいれば弱い人もいる。その人達が整然とストに入った。ストライキが終



新小岩支部スト参加者の決意表明



佐倉支部 スト参加者と執行部

わったあと、ある職制が「たいしたもんだ」と言っていた。当局自身も「分割・民営化はおかしい」と身につまされて思っている証拠だ。出向にだされた助役は「スト権がついたんだからどんどんやっつけて下さい」と言っていたそう。しかし、問題はまだまだ山積みになっている。貨物への会社間格差もそうだし、乗務停止攻撃もそう。

いまとくに問題となっているのは、函館線事故を理由に、アルコール検値器を使って酒が入っているかどうか検査するということだ。いう攻撃だ。まさに「人権じゅうりん」そのものだ。仕事をするのに酒を飲んで来る人など誰もいない。そんな不当な攻撃にみんな怒っている。清算事業団の仲間の原職奪還の闘いと合わせ、不当な攻撃には全力で闘う決意だ。最後に各支部のみならず、支援行動大変ご苦労様でした。

ストの一週間前、個別オルグのなかで支部長からスト指令を受けた。今回のストは、以前と違い非常に明るくやれたと思う。佐倉はちょうど正門をはさんでスト突入集会をやった訳だけれど、学校帰りの高校生など、みんな注目していた。楽しそうにストをやっていたもんで小学生も集会に参加してみんなでワイワイやっていた。それから執行部に注文だけれど、もつとこのストの意義を全体のものとしてほしい。